JR東日本ニュース

2019 年 4 月 22 日
東日本旅客鉄道株式会社

品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）が都市計画決定されました

～高輪ゲートウェイ駅周辺のまちづくりが本格始動します～

○JR東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、「ヒトを起点とした新たなサービスの推進」に取り組んでおり、「CITY UP!」をスローガンに、多様な魅力あるまちづくりの実現に向けて、「品川開発プロジェクト」を推進しています。

○今回、「品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）」（以下「本プロジェクト」）に係る品川駅北周辺地区の都市計画について、国家戦略特別区域会議および諮問会議を経て内閣総理大臣による認定（都市計画決定）を受けました。「グローバルゲートウェイ品川」のコンセプトのもと、関係各所と連携を図りながら、2024 年頃のまちびらきに向けて本プロジェクトをさらに進めてまいります。

○本プロジェクトに関わるまち全体のデザイン構想については、世界的に著名なデザイナーによるコラボレーションとして、「Pickard Chilton（ピカード・チルトン）」及び「隈研吾建築都市設計事務所」を起用し、日本の新たな玄関口となる国際交流拠点にふさわしい景観を実現します。

○2024 年頃のまちびらきに向けて、この場所を舞台にあたらしいものを生み出したい人たち、またそれを支えたいと思う人たちと共創していくための取り組みを「TokyoYard PROJECT」とし、情報発信のための WEB ページを開設します。

1. 都市計画決定

本プロジェクトは 2019 年 4 月 11 日の東京圏国家戦略特区特別区域会議および 2019 年 4 月 17 日の国家戦略特別区域諮問会議を経て、内閣総理大臣による認定（都市計画決定）を受けました。本プロジェクトでは、2020 年頃の工事着手を目指し、関係各所との調整及び諸手続きを進めてまいります。

2. デザイン

本プロジェクトは、まちづくりのコンセプトである「グローバルゲートウェイ品川」にふさわしい景観を実現するため、まち全体のデザイン構想について、世界的に著名な建築デザイン事務所である「Pickard Chilton」と「隈研吾建築都市設計事務所」を起用しました。

◆街全体のデザイン構想

街全体のデザインについては、以下の点をデザイン指針としています。

- 各街区の複数建物を「日本列島の島々」に見立て、「アーキペラーゴ(列島)」を創出
- かつて海岸線であった場所の記憶を想起させる滑らかな「フロー(流れ)」のような歩行者ネットワークを整備
- 低層部は各建物の豊かな緑を連ねることで、都市に緑の丘を構築
- 高層部は頂部に統一した動きをつくり、分節で強調した建物コーナーを新駅前広場や結節空間に向けることで建物同士のつながりを持たせ、各建物が個性を持ちながらも「群としての一体感」を表現
- 高輪ゲートウェイ駅前は、「エキマチ一体まちづくり」の象徴として、和を感じられるデザインの新駅と、緑豊かで滑らかな曲線を持つ 4 街区建物によってつくり出される「360 度の広場空間」を形成

【街イメージパース】港南側から高輪ゲートウェイ駅・4街区および3街区建物を望む

◆4街区建物デザイン

街の中心となる4街区建物の外装デザインについては、「Pickard Chilton」とともにデザイン検討を進めてまいりました。4街区外装については以下の3点をデザイン指針としています。

- 象徴的なアイデンティティの創出
- ヒューマンスケールな空間表現
- 海岸線を想起させる全体デザインに調和する『フロー』が生み出す良質な空間形成

【4街区パース】 港南側から4街区（南棟および北棟）を望む

◆デザイナー

◎ ピカード・チルトン（Pickard Chilton）／全体デザイン構想・4街区デザインアーキテクト

ウィリアム・D・チルトン（William D Chilton　FAIA,RIBA）

・1997 年　アメリカ合衆国コネチカット州ニューヘイブンに
　　Pickard Chilton 設立

・実績　River Point, Chicago
　　ExxonMobil Energy Center, Houston
　　300 North LaSalle, Chicago　　など

◎隈研吾建築都市設計事務所／全体デザイン構想・高輪ゲートウェイ駅デザインアーキテクト

隈研吾

・1990 年　隈研吾建築都市設計事務所　設立

・実績　宝積寺駅
　　V&A Dundee
　　ゆすはら雲の上の図書館　　など

3. TokyoYard PROJECT

品川開発プロジェクトでは、2024 年のまちびらきに向けて新たな文化･ビジネスが生まれ続けるための仕組みづくりを行っていきます。その一環として、世界中からこの場所を舞台にあたらしいものを生み出したい人たち、またそれを支えたいと思う人たちを集め、共創していくための取り組みを「TokyoYard PROJECT」と名付け、まちびらきに先行して活動を開始いたします。

【活動名称】

TokyoYard

PROJECT

※商標登録出願中

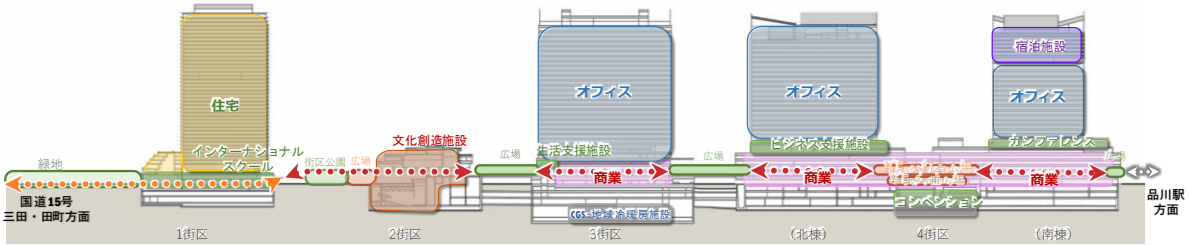
◆活動名称へ込められた想い

- Tokyo･･･ここは、世界に開かれた「あたらしい東京」の入口となる場所であり、世界へ羽ばたく玄関口でもある。
- Yard･･･車両基地（ヤード）であったこの場所は、はじまりの場所であり、常につくり続ける未完成の場所。

この場所を拠点に、あたらしい街を考えるプロジェクトがはじまります。

品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）概要

2020 年春の高輪ゲートウェイ駅開業、2024 年頃のまちびらきを目指しています。



街区別諸元	全体	1街区	2街区	3街区	4街区
敷地面積	約72,000㎡	約12,700㎡	約8,000㎡	約13,000㎡	約38,300㎡
延べ面積 （容積対象床面積）	約851,000㎡ （約690,200㎡）	約149,000㎡ （約103,700㎡）	約31,000㎡ （約24,300㎡）	約211,000㎡ （約174,500㎡）	約460,000㎡ （約387,700㎡）
主要用途	–	住宅、教育施設、駐車場等	文化創造施設、駐車場等	業務、商業、生活支援施設、熱源機械室、駐車場等	業務、ホテル、商業、コンベンション、カンファレンス、ビジネス支援施設、駐車場等
階数/最高高さ	–	地上45階、地下3階／約173m	地上6階、地下4階／約45m	地上31階、地下5階／約167m	地上30階、地下3階／約164m